



令和 8 年度基本方針の進捗報告 (貯金者データ整備)

令和 8 年 6 月 16 日

1. 令和8年度基本方針の進捗状況

【8年度の重点項目】

- 1 「重点取組」の着実な実施
 - ・「優先検証パターン」の提示、県域等説明会の開催等による **きめ細かいデータ整備指導**
- 2 「重点取組」の加速化
 - ・不備事例の **改善ポイント** の取りまとめ、**横展開**
- 3 要整備指標の一本化
 - ・三階建ての **指標の一本化**、これに併せて **検証条件の見直し**

【これまでの取組】

○ 全国説明会の開催

3月23、24日 系統向け（新システム）

5月11、12日 系統向け（「重点取組」、新システム）

6月4日 行政庁向け（「重点取組」）

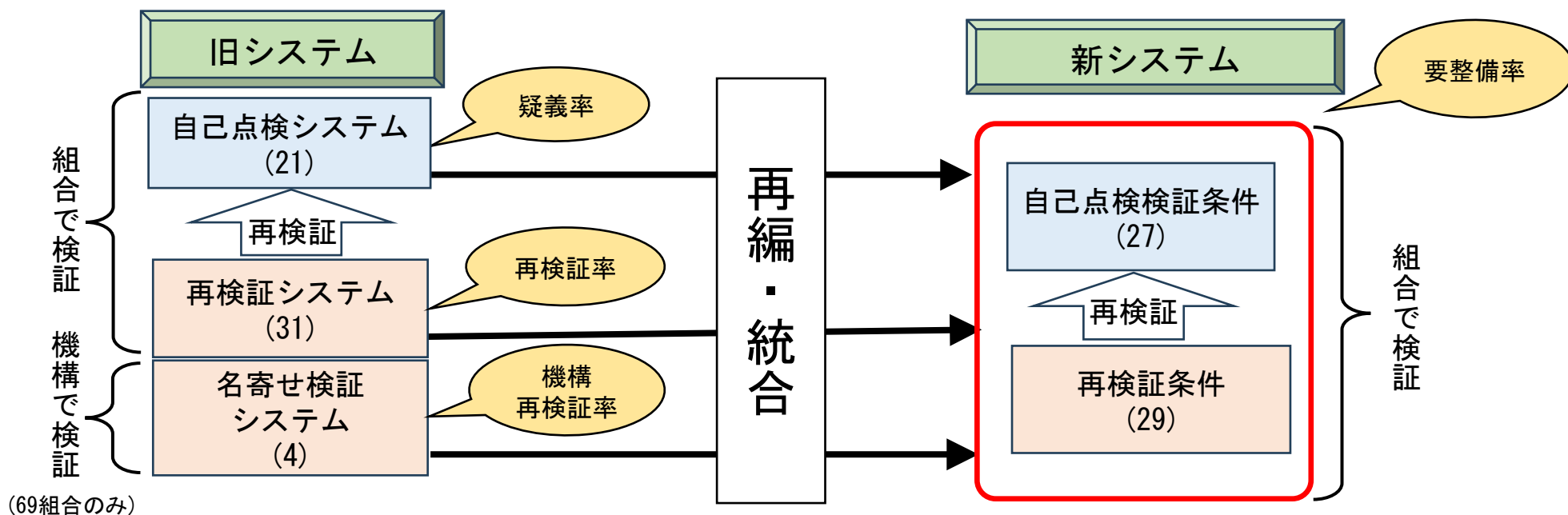
○ 県域等説明会の開催

5月29日 愛知県、6月12日 静岡県、7月3日 岩手県（予定）

2. 貯金者データ検証支援システム（新システム）の概要

- システム整備の歴史的経緯から、**三階建て**（「疑義率」「再検証率」「機構再検証率」）となっていた整備の必要性を示す指標を「**要整備率**」に一本化。
- 一本化に当たって、**検証条件**を以下のとおり**見直し**。
 - ① **検証項目の着眼点**について、必要項目に過不足がないよう見直し。
 - ② **優先検証パターン**を検証項目として設定。

【システム一本化のイメージ】

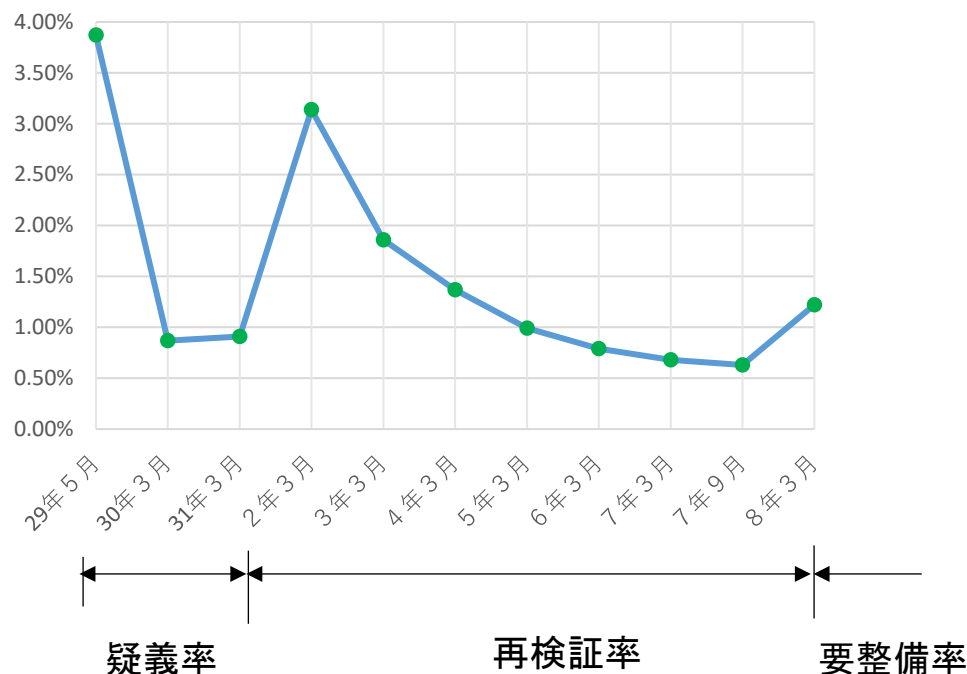


3. 検証条件の見直しに伴う課題

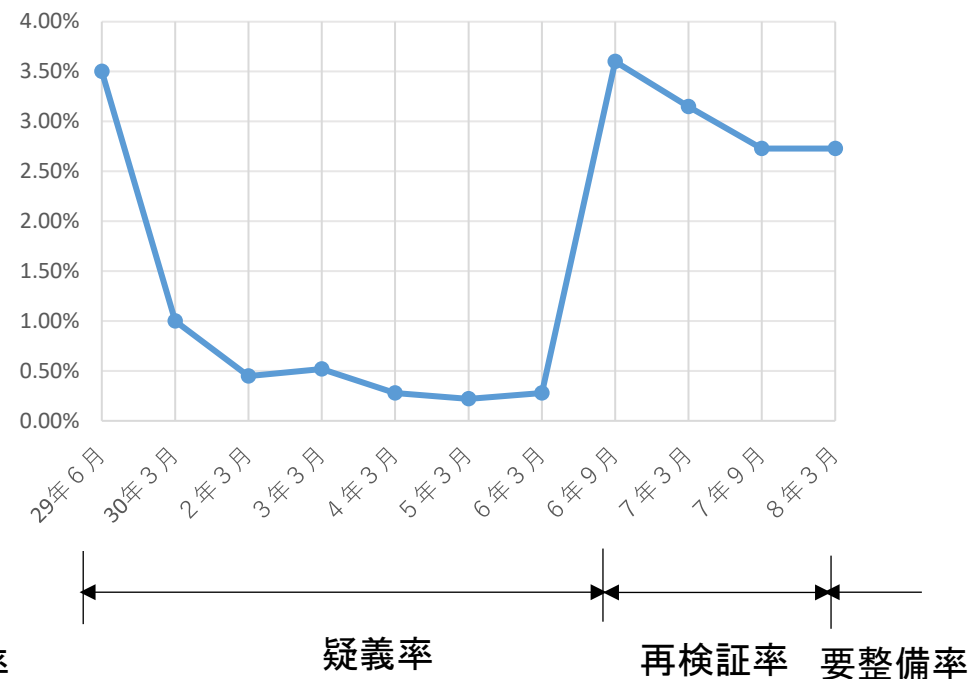
- 要整備指標の一本化に併せて、検証条件を見直したところ、一部組合で**要整備率が増加**。

【要整備指標の推移】

農協系統



漁協系統



* 令和5年1月～機構再検証率も個別に算出

4. 今後の対応

○ 検証条件の見直しに伴う課題については、以下のとおり対応。

① マニュアルの配布

- ・ 今回の抽出条件の見直しに対応した改訂版の**マニュアル**を配布（5月）

② 説明会の開催

- ・ 対応方法について、系統向け全国説明会（5月）で**詳細に説明**したほか、今後の県域等説明会でも説明予定
- ・ 県域等説明会を、整備の遅れた県域のほか、**希望する県域等に拡大**して実施（3月～）

③ 優先検証パターンの見直し

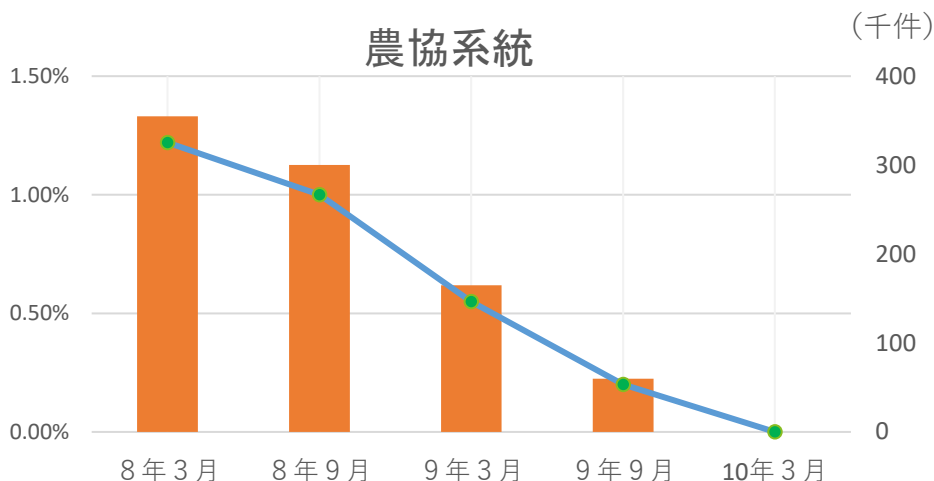
- ・ 今回の抽出条件の見直しに対応した**新たな優先検証パターン**を検討中

【修正後の目標】

○ 農協系統 8年度末の平均要整備率を0.55%まで削減

○ 漁協系統 " 1.60%まで削減

農協系統



漁協系統

